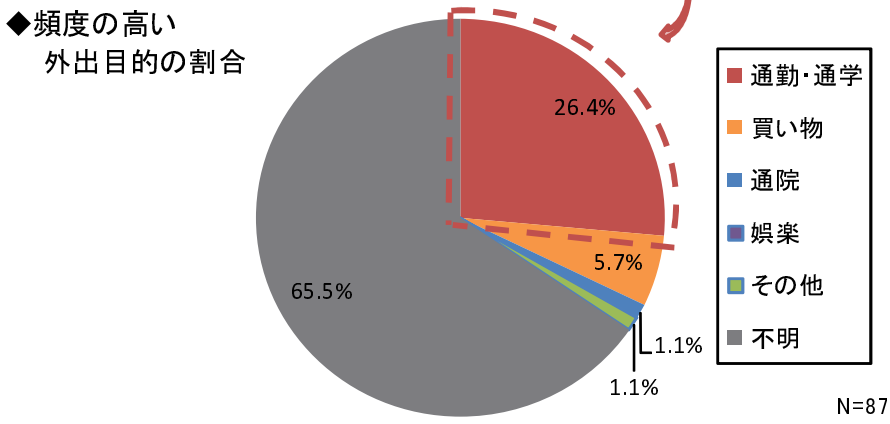
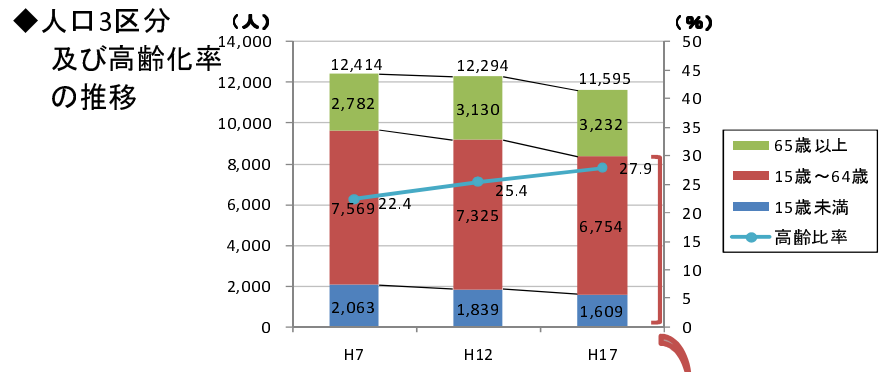


# カルテ①：藤島地域における現況とニーズの整理

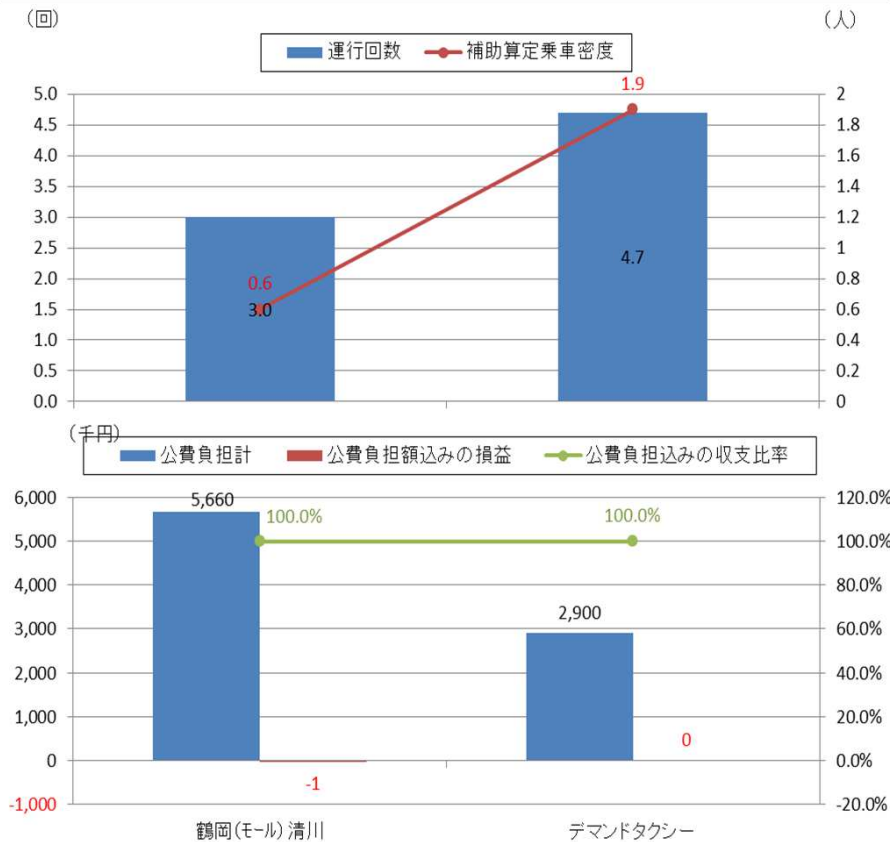
## 人口動態

○人口は**減少傾向**である。  
 ○高齢化率は**増加傾向**である。  
 ○人口の約72%を占める65歳未満のうち、頻度の高い外出目的は「**通勤・通学**」が最も多く**26.4%**を占め、次いで「**買い物**」が5.7%となっている。



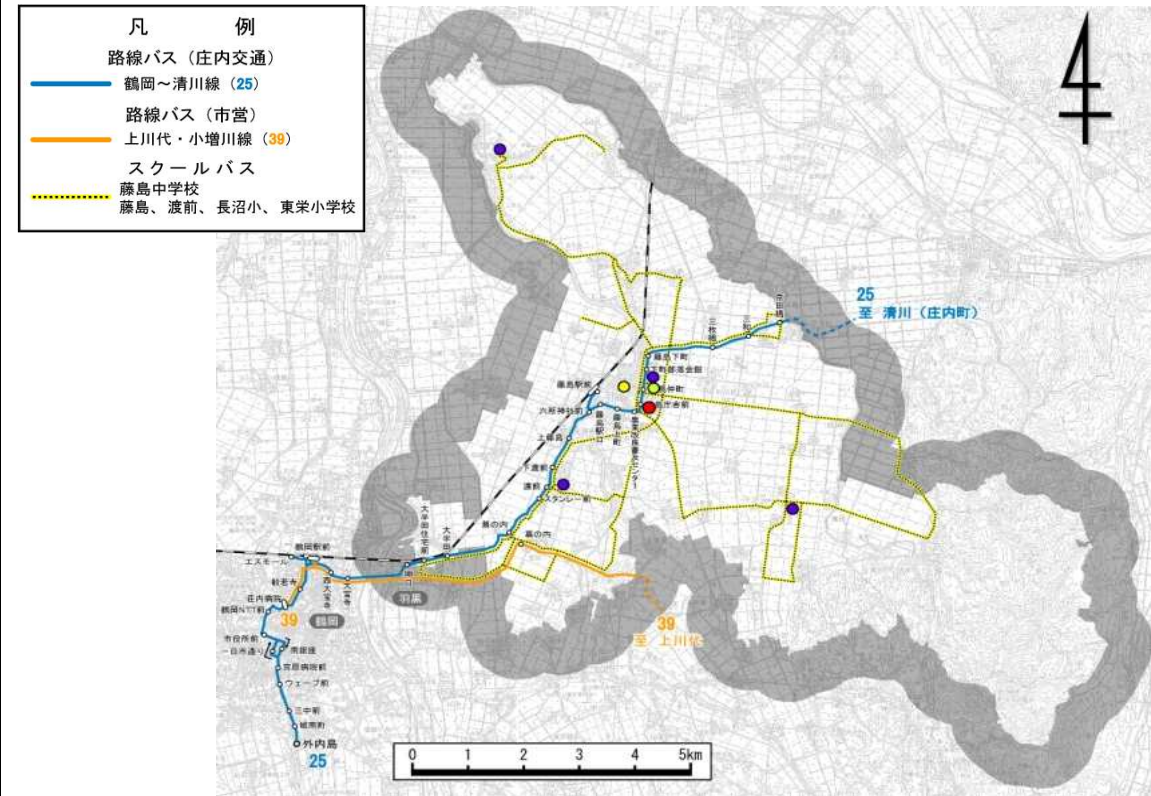
## 公共交通の利用及び収支状況(路線別)

○「鶴岡(モール)清川」は乗車密度が0.6と低い。  
 ○「デマンドタクシー」の運行回数は1日平均運行台数、乗車密度は1台平均利用者数である。費用として委託料を支払っており、委託料から運賃収入等を差し引いた分が公費負担となる。



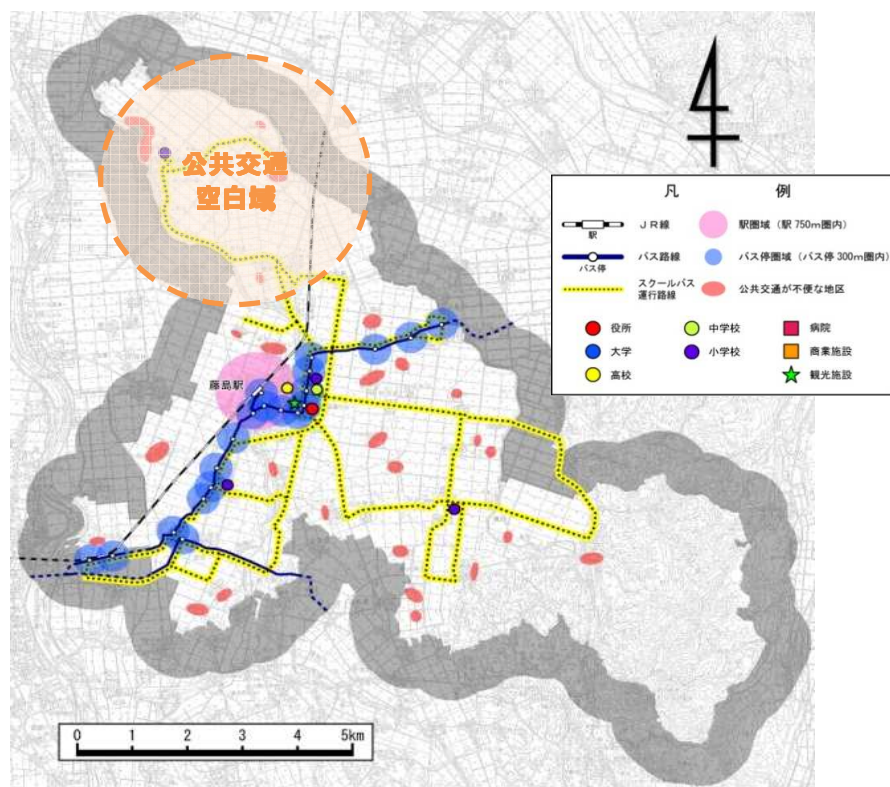
## バス運行路線図

○バス路線は「鶴岡(モール)清川」が地域を横断するように運行されており、地域住民にとって利便性は低い。  
 ○スクールバスは、地域内を網羅的に運行している。



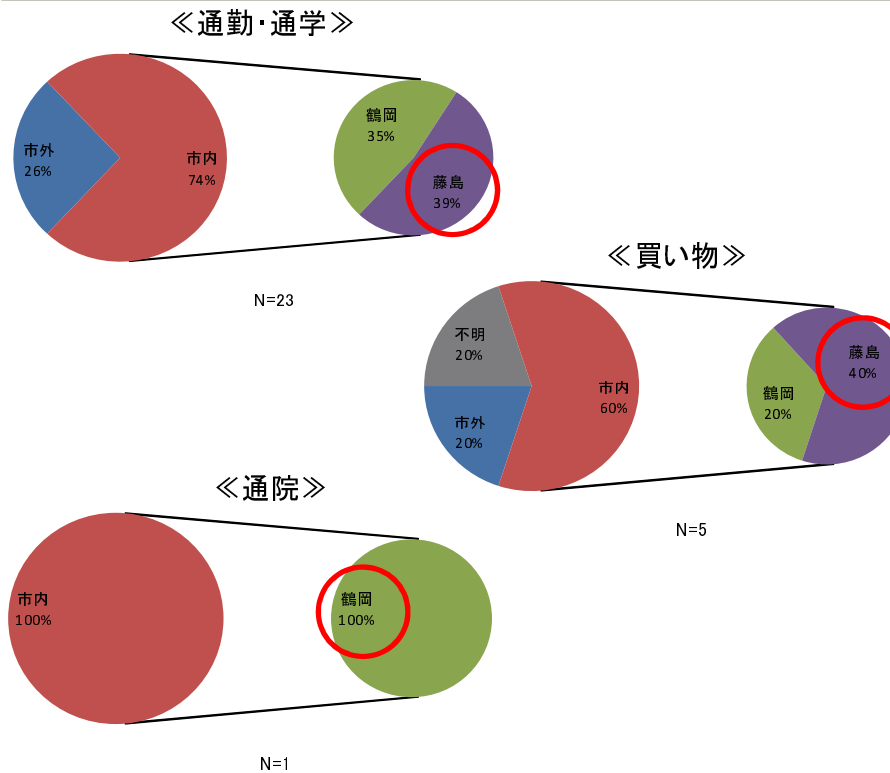
## 主な目的施設と公共交通空白区域図

○現状の路線バスの路線網は主な施設を通るように運行されているものの、地域住民にとっての利便性は低い。  
 ○人口が分布している上で公共交通空白域となっているのは北部である。



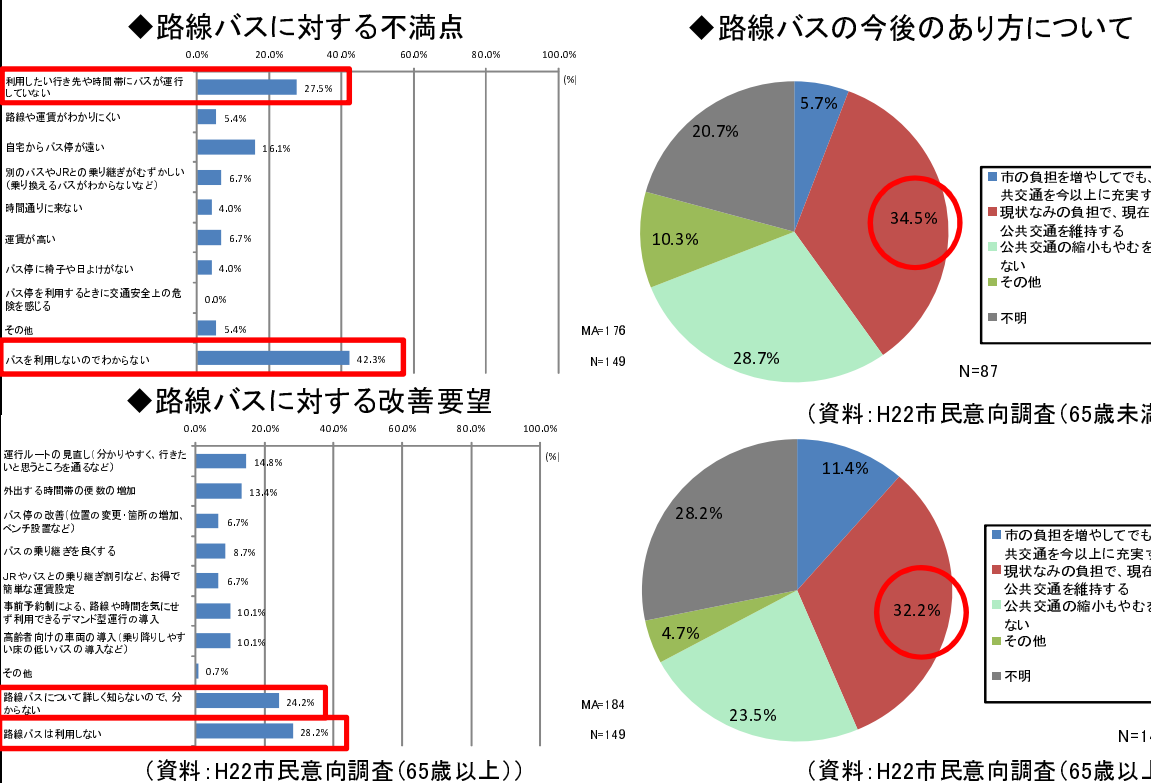
## 地域内の人の動き

○通勤・通学、買い物、通院において**藤島地域と鶴岡地域が主な先行先**となっている。



## 住民ニーズ(市民アンケート調査結果)

○路線バスに対する不満点は、「**利用したい行先や時間帯にバスが運行していない**」が**27.5%**となっている。  
 ○一方、「**バスを利用しないので分からない**」が**42.3%**と最も多く、**路線バスの利用率は低い**。  
 ○今後のあり方については、65歳未満と65歳以上で「**現状なみの負担で、現在の公共交通を維持する**」が最も多くなっている。



# カルテ②：藤島地域における課題の解決に向けた方針と対策

## 問題点・課題

【問題点】 地域内にはJR・路線バス・デマンドタクシー・スクールバス等が運行されているが、利用者が偏り、効率的な公共交通体系となっていない。

↓  
【課題】 現在運行している各交通機関の運行形態や使い方を再整理し、効率的な運行形態に変える必要がある。

- ・ 藤島地域は、中心市街である鶴岡地域へ比較的近く、JR、バス、デマンドタクシーなどが、それぞれの利用者都合で利用されている。
- ・ また、路線バスの廃止代替として始められたデマンドタクシーは、利便性、費用面から評価を得ており、その他公共交通機関を利用しない傾向となっている。
- ・ しかしながら、これら各々の交通機関を現在そのまま維持継続していることは困難であり、将来的な維持存を見据えた交通体制づくりが必要である。

### (アンケート結果)

・ 高齢者は、足もなく家族は勤めに出ていて病院や買い物など出かけることができないので、デマンド方式の導入を検討してください。(八色木在住、男性)

【問題点】 地域の人口減少に伴い、公共交通利用者の確保が困難な状況となっている。

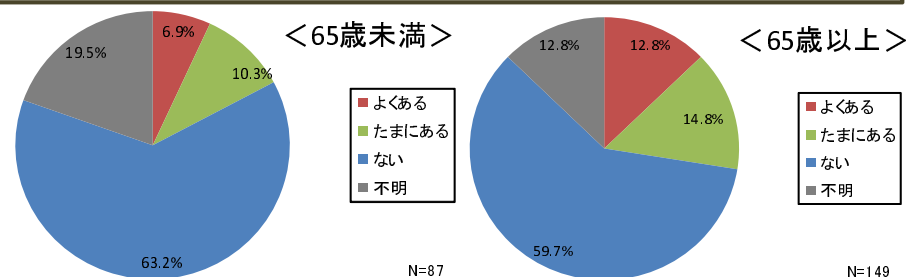
↓  
【課題】 既存のJR・バス・タクシーなどの運行や乗り継ぎを効率化し、利便性を高め、日常生活において地域住民にとって使いやすい公共交通の環境をつくる必要がある。

- ・ 藤島地域内の人口は、市内他地域と同様、年々減少傾向となっている。
- ・ JR藤島駅は、駅広場が整備され、路線バスも発着することから、地域の交通拠点として、活用しやすい状況となっている。

【問題点】 地域内に公共交通不便地区が存在し、今後高齢化により、移動制約者が増えていくことになる。

↓  
【課題】 実現可能で、維持、存続できうる対応により、公共交通不便地区の解消を図る必要がある。

- ・ 地域内は、JR、路線バス、デマンドタクシーなど交通機関が存在するが、地域の南北部において、これらが利用できない地区が存在する。
- ・ 既存の交通手段を活用し、現実的な方法での問題解消を図ることが考えられる。



## 対策方針(案)

### 方針① 既存の公共交通体系の見直し

#### ■ JR・バス・デマンドタクシー・スクールバスなど、地域内の公共交通体系を見直し

- ・ 現在、運行している、JR、民営バス、デマンドタクシーなどを、地域の公共交通として総合的に捉え、効率的で利便性が高まる運行形態に検討を進める。
- ・ 現在、公共交通空白域やバス停が遠く利用が不便である地区においては、地区のニーズに合わせ、現状運行しているスクールバス混乗化を検討する。

### 方針② まちづくりとバスの連携

#### ■ 地域とのタイアップ

- ・ 地域住民の日常的な公共交通利用のほか、地域の医療施設や商業施設などを訪れる地域内外の来訪者が公共交通を活用できるような、地域内での仕組みを構築する。

### 方針③ 公共交通利用に対する市民意識の醸成

#### ■ 地域主導によるデマンドタクシーの運営体制構築

- ・ 多くの地域住民に利用されている、東栄地区デマンドタクシーについて、さらなる利用者ニーズへの対応や他地区への展開も想定し、持続可能な交通手段として、地域主導による運営体制を確立する。

## 対策メニュー(案)

### ■ JR・バス・デマンドタクシー・スクールバスなど、地域内の公共交通体系を見直し

- メニュー1: 東栄地区の廃止バス代替交通として運行されているデマンドタクシーと、既存のJR・路線バス・スクールバスについて、効率的で利便性の高い公共交通体系を目指した、総合的な見直しを図る。
- メニュー2: JR藤島駅を交通拠点とし、各種交通手段との乗り継ぎ利便性を向上させた運行形態を検討する。
- メニュー3: 鶴岡-清川線は、沿線住民の利用促進と利用者ニーズに見合った運行方法(デマンド運行等)を検討する。
- メニュー4: スクールバス混乗化(長沼地区など)による、交通不便地区の解消。

### ■ 地域とのタイアップ・地域主導によるデマンドタクシーの運営体制構築

- メニュー5: 通勤・通学、通院、買い物等の住民需要のJR・バス利用促進、需要の掘りおこし。
- メニュー6: 今後の展開を考慮し、東栄地区デマンドタクシーの地域主導による運行体制を確立させる。

